

《こんな俺、どうすれば?》

「東大、一橋、早稲田、慶応に入って初めて称賛される」

そんな高校を出たのに、一浪して間もなく受験を迎える俺の成績は悲惨なもの……。

代ゼミ偏差値で英語 59 国語 58 数学 59 日本史 57 って……。

今のままでは中央の経済くらいしか入れない。法政、多摩だって危ない。

埼玉大あたりも正直無理だろう。

実は俺は中学までは優等生。

今考えれば、中学校の勉強なんて簡単。あれだけ塾で勉強すればだれだって点数取れるかも。

その結果、学力は相応、頭の良さは不相応の都内の進学校に受かってしまった。

自分なりに勉強したつもりでも頭が悪いので常に学年下位。

浪人して早稲田、慶應、上智、横国などを目指していたけれど、どんなに頑張っても偏差値 60 を超えられない……。

親は「あの高校を出ていて一浪で中央なんて恥ずかしくて親戚に言えない。せめて国立にしてくれ!」とあって、宇都宮大や茨城大をすすめてくる。

でも俺はその辺に行くくらいなら中央でも法政でも東京の私大の方が良いと思うんだ。

ただ、この前近所のおばさんがウチに来て言うことには「●×クン

(俺のこと)は頭のいい高校出てるから大学も良い所に入るんだろうね。ウチの馬鹿息子大学なんか関係ないもんね」なんていう。

その方が幸せだよ。中学、高校とあれだけ勉強したのに、結局は二流、いや三流大学か。遊びもしないで、勉強、勉強、なんか自分があわれだよ。

このままだと、親の見栄で人生台無しだよ。頑張れ、頑張れって、もうたくさんだよ。頑張ったじゃない俺。

こんな俺はどうすればいい?

中央を狙うべきか、それとも素直に田舎に目を向けて 宇都宮大が茨城大を目指すべきか……。それとも中央まで落ちるようなら二浪するべきか。

心はズタズタ、もう勉強する気もないよ。

《進学校で苦しんでいる君へ》

まず、「頭の出来の違うヤツがいる。」ということです。

そして、有名進学校ではそれを受け入れないと自分がおかしくなるということです。

中学の時までは想像もしなかったことかもしれないから、受け入れがたいかもしれないけれど、それが事実ですから。

自分の周りにも、高校3年間、勉強は高校の授業と近くの塾だけと決め、それ以外は楽しくやっていたはずなのに慶応に進学したクラスメイトがいました。

こんな頭の良いやつもいるのですから、もう自分は自分と考えるしかないです。

ここで大事なのは、そういった事を過度に気にしたって自分に何もプラスにならないということです。自分は自分のベストを尽くすことに集中するだけです。

自分の人生なのですから。

高校生の時期は、その部分での割り切りがどうしても上手くできない人が多いわけですが、少し冷静になれば、他人の成績や志望校を気にしたって何のメリットもないことは明白です。

真面目に予習・復習をやろうなんて考えたことはほとんどないですよ。

まあ、そこは校風もあるんでしょうけど、、自分の中で「志望校への合格が最終目標」という揺るがない気持ちがあるかどうかも大切だと思います。

例えば、「毎日の授業」「毎週5教科の週テスト」「定期テスト」ですが、これは、『赤点をとらない程度にがんばる』を目標にして、適度に手を抜かないとやってられないでしょう。受験問題を解く力には直結しない部類のテストですからね。

授業は、当てられる可能性があまりなければ、ある程度無視して参考書を授業中に勝手にやってたし（だって、授業を聞くより問題を解いた方が力がつきますから。）、定期テストも、「1週間でやれる範囲で良しとする。」と割り切っていました。

こういう気分で学校に通うだけでもだいぶちがいますよ。

そして、力の入れ所は、自分がセレクトした参考書を終わらせることや、自分が立てたスケジュールをこなすことです。

学校のペースについて行くのが困難な場合は、自分に合った参考書

をメインに据えて受験勉強を進めて行くべきです。そうでなければ、単に非効率な勉強を繰り返すだけになります。

近くに良い塾があれば、それが一番楽ですが、自分の場合、中学校の時の塾が大学受験は教える力のない塾だったので、高校へ入ってからも最初は義理で行ったのですが、授業の復習程度であとは自習でしたから何の役にも立たなくて、すぐにやめてそれからは一人でやりました。

そもそも、成績が学年でかなり上の人でなければ、授業のペースを適度にこなしていくのは難しいと思いますので、多くの人は、何らかの自主学习が必要なはずだと思います。

「青チャートを6月まで2回やる。」とか「速読英単語を6月までにマスターする。」とか、自分なりの目標設定をして、それを中心に据えて受験勉強を進めていくのがメインだということです。

いろいろ書きましたが、学校に対する力の入れ加減の問題もあるとは思いますが、単に勉強の仕方でも非効率な部分もあると思います。

ですので、そこは自分なりに見直しをされてください。

とにかく、逃げずに、自分がやるべきことに集中して、楽な気持ちで受験勉強を続けましょう。

今でもそう思いますが、進学校なんて思っていたほどのメリットなんて何にもないです。学校に頼らず、自分でがんばって下さい。

そして、もし中学生でこれを読んでいる人がいたら、高校を決める時は、成績よりはワンランク下を選べ！と言いたいです。

県立なんて、やってることはどこも同じ。名前につられて行って大失敗。こんな人が多いの知らないでしょう。自分より頭の良い人は、ゴロゴロいますから。

《難しいですね・・・、3児の母》

うちは一人はのんびりした競争心のないタイプだったのですが、塾の先生の薦めもあって、中学受験をさせて、大学のある付属の中高一貫校に入れました。

でも入ってびっくり。授業はどんどん進みますし、宿題も多く、テストも多い。

本人はもういやだと中2から猛反発、塾にも相談したのですが、「やめさせてはいけない」の一点張りで、最後は「子どものこと考えて

ます？」までもめました。

結局は、その塾もやめて、公立の中学に入りなおしました。

子どもにはその塾も一貫校も合わなかったようで、今考えるとまんまと塾に乗せられた感じです。

あの数年間で子どもが失ったものを考えますが、正直可哀想なことをしたかなと思っています。

一人は公立の中学に行き、地区屈指の進学校に願書を出しましたが、実際に友人とのトラブルが原因で、どうしてもそこに行きたくないと、ワンランク下の進学校に変更してそこに行きました。

親としてはせっかくいける学校をかけた事がとても残念に思いましたが、結果的に最初から余裕を持って上位に入り、友人からもできるやつと思われたことから、かえって成績を下げられないと思ったそうで、頑張って上位を維持して希望の大学に合格しました。

親子共々かえってよかったと思っています。

一人は本人の希望で地区屈指の進学校入りましたが、成績は散々で、結局はその辺の大学へ進みました。

三人とも大学へ行きましたが、結果的には一番の進学校へ行った子が一番低い大学です。

親としては最良の道を選んでやりたいけれど、それが必ずしも子どもにとって最良になるかどうかはわからないし、塾も結局は合格実績しか考えていませんし、進路選択は難しいです。